



「見送る」のではなく、「出あう」場所。

真宗佛光寺派が伝える、葬送の儀の本当の意味



時間や費用の節約



お付き合いの希薄化

簡略化される葬送の儀式

- 昨今、時間や費用の負担、人間関係の希薄化を背景に、通夜を省いたり「直葬」を選ぶなど、ご葬儀の簡略化が進んでいます。
- 遺族にかかる負担を減らしたいという思いは、現代の自然な流れかもしれません。
- しかし、効率化によって私たちが「失ってしまう大切な時間」があるのではないのでしょうか。

誰のための儀式なのか？

世間の認識：遺族が故人のために行うもの



真宗の教え：仏さまとなった故人から、遺された私たちへのメッセージ



葬送の儀式は、単なる「故人を送り出す作業」ではありません。亡くなられた方が仏さまとなり、遺された私たちに「いのちの尊さ」に気づくよう促してくださる、仏法聴聞（教えを聞く）のたいせつなご縁なのです。

大切な「4つの歩み」



臨終勤行



通夜勤行



ご葬儀



中陰勤行

真宗佛光寺派では、簡略化することのない従前からの一連の儀式を勧めています。
それは、一つひとつの儀式に、遺された者が悲しみと向き合い
いのちの不思議さに目覚めるための「不可欠な意味」が込められているからです。

【第一の歩み】 臨終勤行（枕経） — 感謝の言葉を代弁する



✗ 迷わず成仏するための呪文



✓ お浄土へ生まれる「よろこびと感謝」のお勤め

- 一般的に「枕経」と呼ばれますが、真宗では「臨終勤行」と言います。
- 本来は、亡くなって往かれるご本人が、これまで心の拠り所となってくださった阿弥陀様へ「お浄土に生まれさせていただくよろこびと御礼」をご家族とともに唱和するものでした。
- 実際は、ご本人がお勤めすることは難しいため、僧侶が「亡くなった方に成り代わって」その感謝のお勤めをいたします。

【第二の歩み】 通夜勤行 — 無常の身を見つめる夜

✗ 単なる弔問客の応対時間



✓ 「私もやがて死ぬ」という事実と向き合う間法の間

- ご家族が夜通しご遺体に寄り添う大切な時間であり、「夜伽（よとぎ）」とも呼ばれます。
- 亡くなられた方を顧みながら、「私もやがては命終える無常の身である」という事実を受け止める時間です。
- 平素は気にも留めなかった「今、不思議ないのちを生きている」という事実気づかされる、静かで欠かせない夜なのです。



【第三の歩み】 ご葬儀 — 「告別」ではなく「出あい」

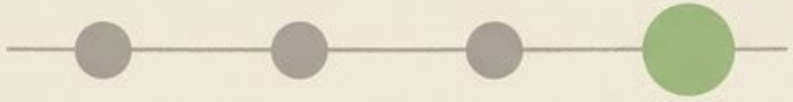


✗ 告別式（別れを告げる）



✓ 葬儀式（新たに出あう）

- 世間では「葬儀・告別式」と一括りにされますが、真宗では基本的に「告別式（別れを告げる式）」とは言いません。
- お別れではなく、亡くなった方を「あらたに誕生された仏さま」として出あう大切な場です。
- 私も娑婆の縁が尽きれば必ずお浄土へ参り、すでに待っていてくださる故人と再び会える（俱会一処 - くえいっしょ）という契りを結ぶお仏事です。直葬などのように略すべきではありません。



【第四の歩み】中陰勤行 — 故人はすでに、仏さま

他宗の考え



49日

次の生が定まるまでの期間
故人を安らかに導くための追善供養

真宗の教え



49日

即得往生：瞬時に浄土に往生し仏となる
故人をご縁として遺族が仏法を聞く期間

- 四十九日（中陰）の捉え方が、他宗とは全く異なります。
- 真宗では、阿弥陀如来のはたらきにより、亡くなれば中陰の期間を待たず浄土へ往生し、仏となります。
- したがって、中陰のお勤めは「故人を安らかに導く（供養する）」ためではなく、故人をご縁として遺された私たちが「仏法を聞き、自分のいのちの不思議さに目覚める」ために行います。

葬送の儀が持つ、本当の意味（まとめ）

儀式	一般的な認識	真宗佛光寺派の教え
臨終勤行	故人が迷わず成仏するための呪文 （枕経）	お浄土へ生まれるよろこび 阿弥陀様への御礼
通夜勤行	弔問客への対応 最後のお別れの準備	「私もやがて死ぬ」という無常 の身を見つめる夜伽
ご葬儀	故人との永遠の別れを告げる場 （告別式）	新たな仏さまとの「出あい」 浄土での再会を誓う場
中陰勤行	故人の行先が決まるまでの安寧 を祈る追善供養	故人をご縁として、遺された者が 仏法を聞く大切な時間



最後のメッセージを、受け止める時間。

儀式を簡略化すれば、たしかに時間や費用は節約できるかもしれませんが。しかしそれは同時に、故人が自ら命をもって示してくれた「最後の教え」に出会う時間を失うことでもあります。

遺された私たちが、悲しみの中でいのちの尊さに気づくこと。それこそが、一連の葬送の儀式に込められた本当の願いなのです。

効率に流されず、この「静かなる歩み」を大切にしてみませんか。